



桑名市

平成 27 年 2 月 17 日
桑名市報道提供資料

「認知症ケアの医療介護連携体制構築事業」が桑名市で実施されます

三重大学医学部附属病院認知症センターおよび三重県医師会の共同事業である「認知症ケアの医療介護連携体制構築事業」のモデル市の 1 つに、桑名市が選定されました。この事業は、三重県地域医療介護総合確保基金積立金の「居宅等における医療の提供に関する事業」のひとつとして実施されます。

具体的には、認知症の早期の気づきを早期診断・早期対応へとつなげるため、認知症スクリーニングツールを用いた IT による脳機能評価を実施するとともに、認知症連携パス（脳の健康みえる手帳）の普及・定着を図る取り組みを支援するものです。

このため、三重大学医学部附属病院認知症センターで雇用された認知症連携パス推進員が平成 28 年 3 月末まで桑名市中央地域包括支援センターに配置されます。

桑名市では、平成 27 年度から認知症初期集中支援チームを設置予定であり、連携パス推進員とも連携を取りながら認知症の初期対応を行っていきます。



問合せ先：保健福祉部介護・高齢福祉課
中央地域包括支援センター
電話 0594-24-5104



ゆめはまちゃん